

『博士ちゃん』に想う事

「昭和家電」や「昭和歌謡」
或いは「戦国の城」等々、学校では先ず教えない特定分野に特段の関心を持ち且つ実社会の専門家（無論、大人）と対峙するだけのずば抜けた能力を発揮する子供達（小く中学生が原則だが、稀に高校生も）を紹介する多様性番組『博士ちゃん』（『テレビ朝日』以下、テレビ朝）。——昭和に生まれ育ち、先天性脳障害——高機能自閉症」と診断されてる——を抱えつつ今を生きてる筆者は、紹介される子供達に幼き頃からの自身の姿を重ね合わせ乍ら、此の番組を観続けてる。

禁忌・一

此の番組には少なくとも二つの「禁忌」が在る。

現代の政治は扱わない

〔吉岐也自己紹介で恐縮だが〕筆者は小学六年・即ち学校で政治を学び始める頃から政治の制度に関心を持ち、進級するに吊れて、日本の統治機構の在り方に疑問と不満を強く感ずるに至り、独自の自主憲法案を作っては自前の拠頁（アドレス）は三頁目の左下枠内参照を通して公開している。

今の子供達の中にも、筆者と同様に自前の憲法案を作り、或いは其処迄行かなくとも日本の政治に関連する具体的且つ建設的な妙案を作っては発表したが、居るだろう。——其等は但し、放送では（報道の一環（＝ニュースの「コーナー」として、伝える側

（＝放送事業者）は客観的な立場に立ち、且つ対照的な案も同時に示す場合を除いて）紹介出来ない。勿論、『博士ちゃん』でも。——憲法案を含め政治関連の具体案作り自体が、政治上の特定思想信条に基づく行いであるが故に、現行「放送法」の規定に在る「不偏不党」と「政治的公平」に反するからだ。

現在進行中の政治の話で無くとも、例えば、アメリカ合衆国対「ソビエト社会主義共和国連邦」（現・ロシア連邦）を軸とする「冷戦」の時代（一九四六—一九九二）の話に滅茶詳しい子供が居たとしても、「政治的公平」を確保し難い課題として、『博士ちゃん』では先ず扱えぬだろう。

現代の政治。是が、『博士ちゃん』に於ける第一の禁忌、と断

言して間違いは無かるう。——
テレビ朝拠頁内の「博士ちゃん募集要項」中に「現代政治に関するものはお断り」旨の記述は見られないが…。

禁忌・二

障害との関連を言及しない

テレビ朝は果たして、『博士ちゃん』への出演を希望する子供達各々に先天性の脳障害——此処では専ら「発達障害」（「高機能自閉症」の他、「アスペルガー症候群」「レット症候群」…等。知的障害（精神遅滞）を伴わないもの）——が無い事を確認した上で選別・出演させてるだろうか。——筆者にはそうは想い難い感が在る。特定の分野に拘ってずば抜けた能力を発揮する一方で他人との意思疎通

五〇年弱遅れの「博士ちゃん（？）」

佳羅 春男

一九六三年（昭和三八年）二月出生

が執り難い事は、発達障害の特徴として能く聞く話で、筆者自身は正に、そう云う傾向の持ち主だからだ。

「六歳児の妹をモデルに使って架空楽曲の覆紙も作る昭和歌謡好きの中学一年男子」の話(二〇二二年一月二日放送)は其の意味で、卓越した能力の「影」を垣間見せた感が在る。音楽の覆紙を縫り本格的に作るなら、

自身が通う中学校の同級生(又は先輩)たる女子生徒達に趣旨を説明した上で、彼女達の中から一人を選んでモデルに使うと云う手が在る筈——中学時代に歌い始めた歌手も現に少なからず居るが故——だが、彼は校内に於ける他の生徒に話し掛ける事が不得手であるが故に止むなく自身の妹をモデルに使ってる、が如く筆者には見えている。

此の例の如く垣間見えなくとも、例えば、「空気が読めない」「仲間に入れて貰えない」「無視

される」或いは「遅い」「思い通りに行かず又は時間が迫って来ると癩癩を起こす(「ばにくる」)「融通が利かない(「臨機応変が下手」)：等と云った事々に学校で直面してる「博士ちゃん」達は少なくともないので。

「長期十連携」 放送の責任

「博士ちゃん」達も孰れは例外無く、実社会・即ち世間——飽く迄健全者を基準に、常に健全者の歩調と律動に沿って営まれる(↑当然。健全者が人の世に在って常に絶対多数を占める以上は)——に身を置いて働かねば成らない。故に、彼等(彼女達)が各々、番組で披露した折角の卓越した能力が果たして、近未来の自身の就職そして天職へと直結出来るか否か、更には日本——共同体としての——の縫り良い発展と向上に「可能な限り大きく」貢献出来るか否か——が否応

無く課題と成る。

人の行いには必ず、表(「光・陽」と裏(「影・陰」とが在る。表にだけ目を向けても、其の事の本質を理解する事は出来ないし、其の事が抱える問題の解決にも繋げられない。

其故、テレ朝グループには今後も、『博士ちゃん』の新作放送(含むネット配信)を二〇二〇年、二〇二一年……と続けていく責任が在る。其の中で、地上波では是迄通りに「博士ちゃん」達の「表」の詳しい紹介に徹する一方で、彼等(彼女達)の「裏」(家庭や学校に於ける言動や行動の詳細、学校卒業後の就労の状況、等)を医療と社会福祉・双方の専門家の解説付きで紹介する番組(「裏・博士ちゃん」とでも銘打つ?)を衛星放送(『BS朝日』↓以下、B朝)で「視聴率」を絶えず気にする地上波テレビでは先ず無理な題材たるが故。例え多くの人々に見られたとしても、大方の法人は

「暗い」旨言って協賛(提供)を敬遠するだろうね。B朝で放送するにしても、理解力有る法人を協賛者として確保出来るか

が第一の課題だろうけれど——可能な限り定期的(出来れば毎月(週一は無理だろう)・少なくとも概ね三箇月毎)に放送する——と云う連携を通して、「博士ちゃん」達の成長を「暖かく見守る」姿勢で追い続け、間接的乍ら彼等(彼女達)の就職そして永続的な仕事をも支援して行く事。こそが、「博士ちゃん」と其の家族、のみならず、世間(更に強いて言うなら、共同体としての日本)に対して果たさねば成らぬ、放送の作り手・送り手として最小限の責任——と筆者は考える。

他、気に成ってる事を数件。

「是も「禁忌」に触るかも知れないが、」一月三日放送の拡大

特別版（「ミイラ作りに熱中する余りエジプト行きを熱望し、回国政府の招待に応じ同地に赴いては現地専門家と議論を戦わす小学六年女子」の話。番組史上初の海外収録との事）の全国広告枠では放送されなかった「酒類CM」。だが、普段放送の土曜一九（二〇）時台では其が放送されている。多くの子供達に見られ且つ子供達を出演させてる以上、例えば大手飲料持株各社の場合、週替わりで同じ曜日と時間帯に放送される事が多い『（元NHK記者の）ニュース解説』の広告枠で『モルツ』『一番搾り』『スーパードライ』を各々宣伝してるなら、『博士ちゃん』では心して『伊右衛門』『生茶』『十六茶』を各々宣伝する——と云う様には行かぬものだろうか。

放送開始（二〇一九年（令和元）一〇月）以来主司会者を務め続けるお笑い芸人二人組には、若

し出来れば、少なくともあと一〇年は司会を続けて戴き、現副司会者——来る三月に高校を卒業。「子供達にとっての極身近な先輩」と云う位置付けであろう故、三月放送分で「お役御免」と成るだろう。但、彼女に変わり得るだけの仕切り術を發揮出来る生徒女優が居るだろうか？——と同年代の芸能人が父（又は母）と成った頃を目途に襁を渡し、番組が続く様に——と願うのは筆者だけか。

『博士ちゃん』に限らず、事前収録のテレビ番組は今や例外無く、日本人の日本語発言にも字幕を出すのが当然と成ってるが、是は聞こえない人への配慮では決して無く、飽く迄論理強調の為の手段。NHKが「二〇二一オリンピック」の記録映画作りを追った記録番組でやらかした不祥事例を引き合いに出す迄も無く、思い切って、「日本人

の日本語発言に出す字幕は、聞こえない人の便宜を図る目的の場合（遠隔操作機を画面の右上に表示される「字幕」の枠付き字幕へ向けて「d 釦」を押すと、音声に沿った字幕が画面の中に現れる。主に一部のCMで使われている）以外は出さない様にすべき——と考えるのは、筆者を含む脳障害者のみか。

「現代の政治」を『博士ちゃん』に於ける禁忌として述べたが、放送では扱えなくとも、放送法の制約を受けない（が故に、暴力を肯定しない限りは政治的な偏りも許されよう）間、網に拠る画像送信役務も在る（テレ朝も、「ブログ」で有名な『サイバーエージェント』（↑筆者もお世話に成ってます！）との合弁で『アベマTV』を運営、多数の番組を配信している）から、其を活用して、「縊り民生的で暮し易い日本」や「平和な世界」を「博士ちゃん達及び専門家と一緒に考える」番組を作

りそして送れたら——と云う事を、筆者の強き願いとして付け加えておこう。

お断り

「個人情報保護」並びに「誹謗中傷や名誉棄損の予防」と云う観点から、個人の氏名は、次三つの何れかに該当する場合は除き、仮名又は匿名と致しております。

▼本人（又は親族）が書面（封書又は電子私信）を通して実名表記を希望した場合。

▼「国会の議長又は副議長」「内閣総理大臣又は国務大臣」「最高裁判所の裁判官」並びに「都道府県知事」の各現職及び経験者。

▼死後一週間以上を経た、物故者たる民間の有識者。

佳羅放送戯評 『博士ちゃん』に想う事

2023年（令和5年）1月23日発行

発行者 佳羅研究所

<http://www.kar2007el.ecweb.jp/>

お問い合わせ先（電子メール）

s9p-14@kar2007el.ecweb.jp